

日米連続好配当株式ファンド

愛称:配当のチカラ

追加型投信/内外/株式

交付運用報告書

第1期(決算日2024年2月5日)

作成対象期間(2023年1月26日~2024年2月5日)

第1期末(2024年2月5日)	
基準価額	12,681円
純資産総額	16,060百万円
第1期	
騰落率	26.8%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。当社ホームページにアクセスし、「ファンド情報」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日米連続好配当株式ファンド」は、2024年2月5日に第1期の決算を行いました。

当ファンドは、主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主として日本および米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スカイオーシャン・アセットマネジメント

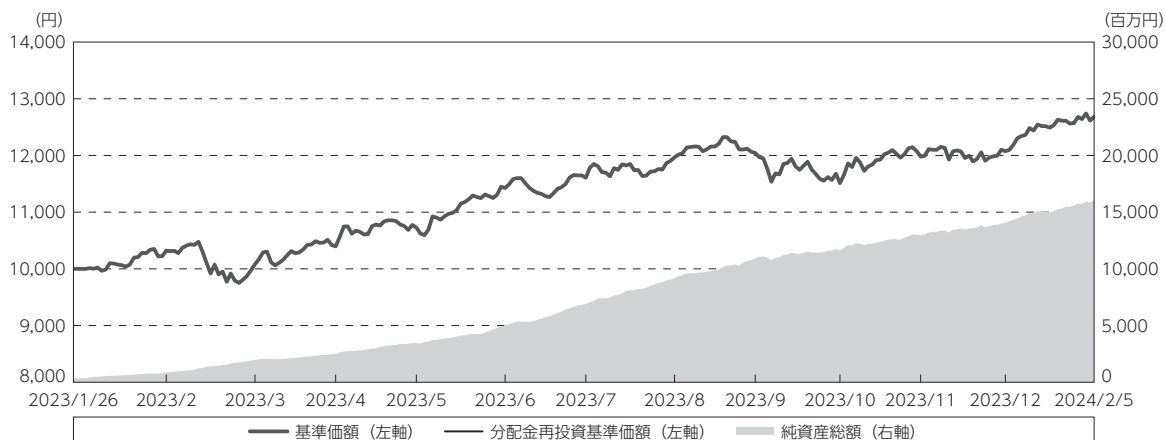
〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ: <https://www.soam.co.jp/>
サポートデスク: 045-225-1651
(受付時間 営業日の午前9時~午後5時)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年1月26日～2024年2月5日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)」の基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)	日本、米国の株式	97.4%	28.3%
日本株配当貴族インデックスマザーファンド	日本株式	50.4%	37.4%
米国株配当貴族インデックスマザーファンド	米国株式	48.8%	20.5%
その他	コールローン等	0.9%	—
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	わが国の公社債	0.0%	-0.2%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は当ファンドの組入日からのものです。

(注) 「FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)」の組入資産の比率は、「FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)」に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

(2023年1月26日～2024年2月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	59 円	0.521 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.261)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.227)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.034)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	60	0.527	
期中の平均基準価額は、11,291円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

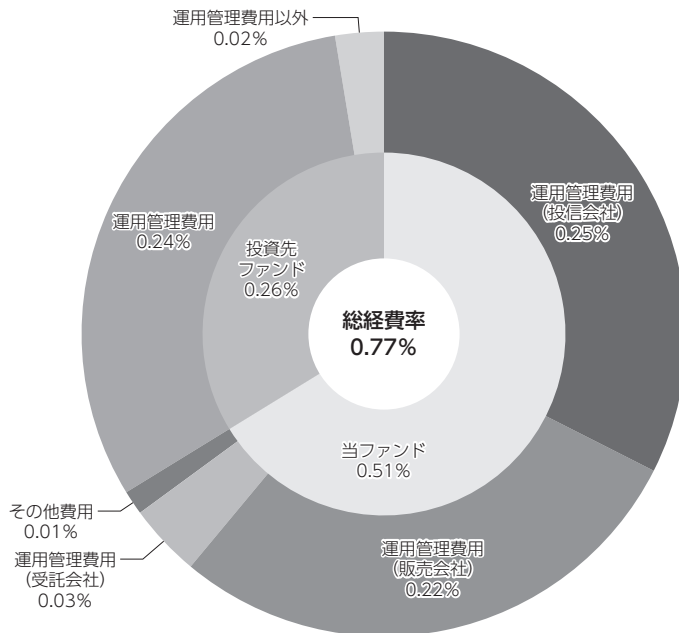
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.77%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	0.77
①当ファンドの費用の比率	0.51
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年2月5日～2024年2月5日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2023年1月26日です。

	2023年1月26日 設定日	2024年2月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,681
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	26.8
純資産総額 (百万円)	354	16,060

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年2月5日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2023年1月26日～2024年2月5日)

■国内株式市場

国内株式市場は上昇しました。当期初は、次期日銀総裁候補である植田和男氏が金融緩和継続の方針を示したことが好感され、堅調に推移しました。米国での銀行の経営破綻をきっかけに市場心理が悪化したことなどから一時下落する場面もありましたが、米国の債務上限問題が解決したことや、米雇用統計の結果を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを見送るといった観測から2023年9月の中旬にかけて上昇しました。その後は、米国の長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化など地政学リスクが懸念され下落に転じましたが、米国の利上げ局面が終了するとの見方から国内株式市場は値を戻す展開になりました。当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合で金融緩和策の維持が決定されたことや円安・米ドル高が進行したことが追い風となり上昇しました。

■米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。米銀行の経営破綻をきっかけに市場心理が悪化したことなどから一時下落する場面も見られたものの、米CPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化したことでFRBによる利上げの休止が期待されたことや、予想を上回る経済指標を受けた米国景気の軟着陸期待の高まりなどから2023年7月にかけて上昇しました。しかしその後は、大手格付会社が米国債の格下げを発表したことや、各国中央銀行が政策金利を長期間高水準に維持するとの見方が強まったことなどから10月にかけて軟調に推移しました。当期末にかけては、米国で労働需給の軟化、インフレ鈍化を示す指標を受けて米国の長期金利が大幅に低下したことなどが好感され上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年1月26日～2024年2月5日)

○当ファンド

「FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を高位に保つ運用を行いました。

・FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)

「日本株配当貴族インデックスマザーファンド」及び「米国株配当貴族インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

基準価額水準、市場動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	2023年1月26日～ 2024年2月5日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,681

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

○当ファンド

「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資します。

・FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）

「日本株配当貴族インデックスマザーファンド」及び「米国株配当貴族インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

・FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。

お知らせ

2023年1月26日から2024年2月5日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

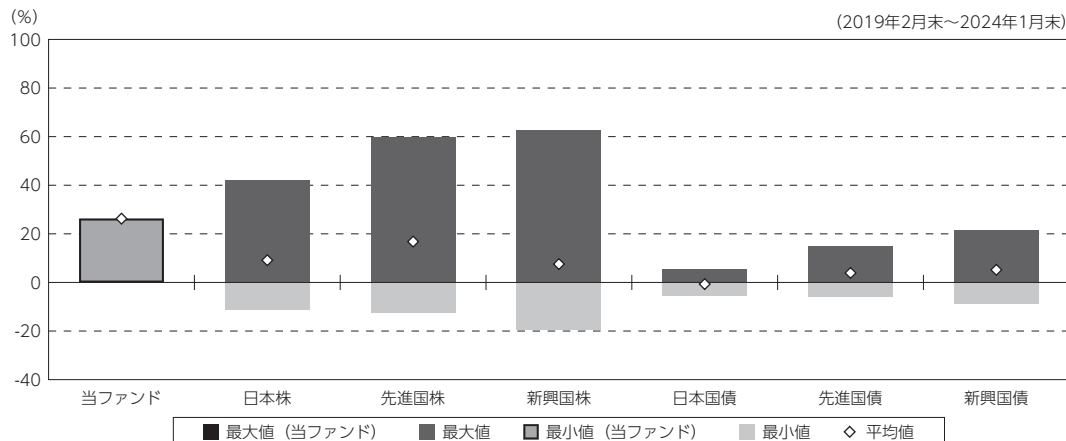
- ・信託期間を無期限に変更するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日：2023年10月25日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2023年1月26日から無期限
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が運用する「FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）」(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主として日本及び米国の金融商品取引所等に上場している株式に投資します。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。 ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.2	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	26.2	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	26.2	9.1	16.8	7.6	△ 0.7	3.9	5.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年2月から2024年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2024年1月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年2月5日現在)

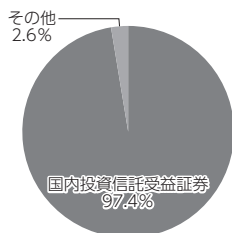
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
FOFs用日米配当貴族株式ファンド(適格機関投資家専用)	97.4
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

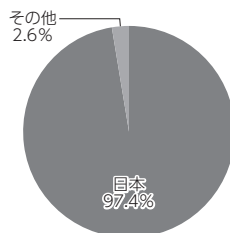
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

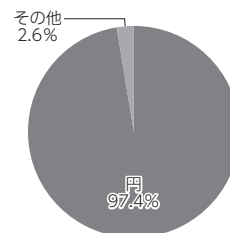
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第1期末
	2024年2月5日
純資産総額	16,060,523,523円
受益権総口数	12,664,532,861口
1万口当たり基準価額	12,681円

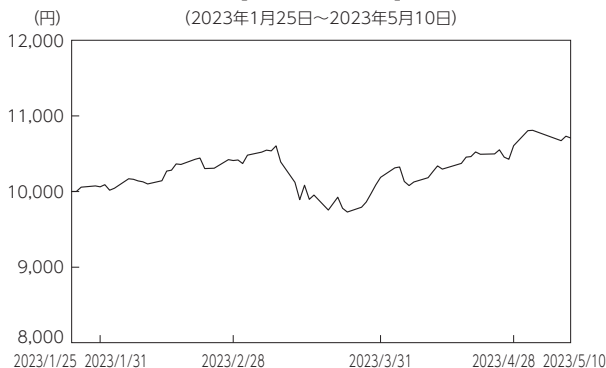
(注) 期中における追加設定元本額は13,590,683,552円、同解約元本額は1,280,803,421円です。

組入上位ファンドの概要

FOFs用日米配当貴族株式ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2023年1月25日～2023年5月10日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年1月25日～2023年5月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	8	0.073
(投 信 会 社)	(6)	(0.061)
(販 売 会 社)	(0)	(0.003)
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.008
(株 式)	(0)	(0.002)
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.003)
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.002)
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000
(株 式)	(0)	(0.000)
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)
(d) そ の 他 費 用	1	0.007
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)
合 計	10	0.088

期中の平均基準価額は、10,316円です。

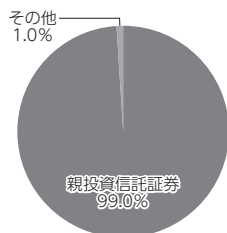
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位ファンド】

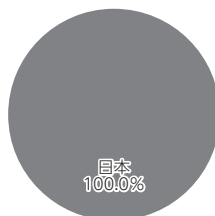
銘 柄 名	組入比率
	%
日本株配当貴族インデックスマザーファンド	50.4
米国株配当貴族インデックスマザーファンド	48.6
その他	1.0
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

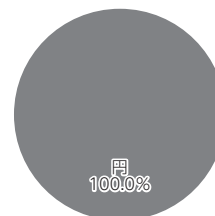
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位ファンド、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月10日現在のものです。

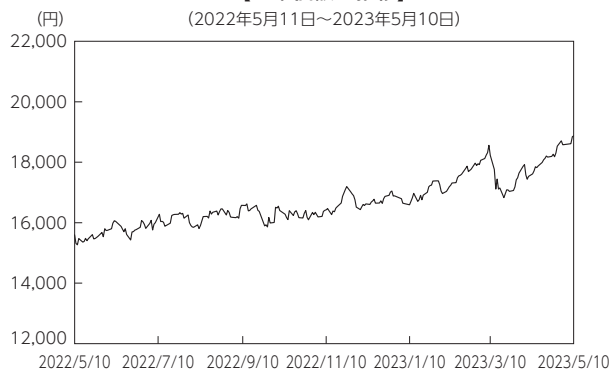
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

＜ご参考：組入上位マザーファンドの概要＞

日本株配当貴族インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月11日～2023年5月10日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	2 (0) (2)	0.011 (0.000) (0.011)
合計	2	0.011
期中の平均基準価額は、16,793円です。		

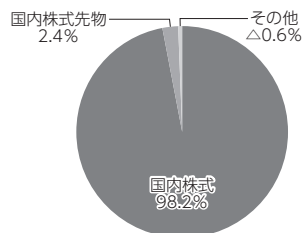
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

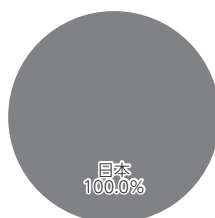
銘柄名	国・地域	組入比率
1 東洋製罐グループホールディングス	日本	4.3%
2 住友林業	日本	3.3%
3 稲畑産業	日本	3.3%
4 ダイセル	日本	2.8%
5 エクシオグループ	日本	2.8%
6 インフロニア・ホールディングス	日本	2.7%
7 安藤・間	日本	2.7%
8 タイワボウホールディングス	日本	2.6%
9 東ソー	日本	2.6%
10 UBE	日本	2.6%
組入銘柄数	51銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

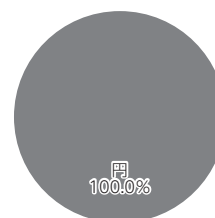
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月10日現在のものです。

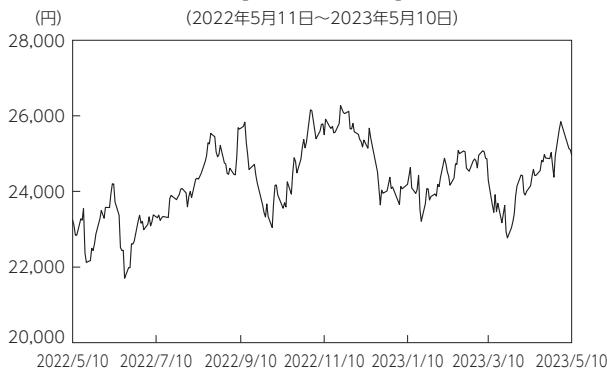
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで国内株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して2.4%買建てております。

米国株配当貴族インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年5月11日～2023年5月10日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.022
(株 式)	(2)	(0.010)
(投 資 信 託 証 券)	(3)	(0.012)
(先 物・オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001
(株 式)	(0)	(0.000)
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)
(c) そ の 他 費 用	7	0.027
(保 管 費 用)	(6)	(0.027)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	12	0.050

期中の平均基準価額は、24,362円です。

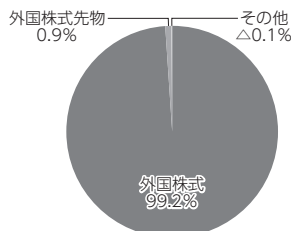
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

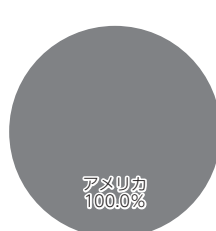
銘 柄 名	国・地域	組入比率
		%
1 PROSHARES S&P 500 DIVIDEND A	アメリカ	2.1
2 ALBEMARLE CORP	アメリカ	1.7
3 PENTAIR PLC	アメリカ	1.6
4 BROWN & BROWN INC	アメリカ	1.6
5 CARDINAL HEALTH	アメリカ	1.6
6 COLGATE-PALMOLIVE CO	アメリカ	1.6
7 CHURCH & DWIGHT CO INC	アメリカ	1.5
8 PEPSICO INC	アメリカ	1.5
9 MEDTRONIC PLC	アメリカ	1.5
10 ECOLAB INC	アメリカ	1.5
組入銘柄数	68銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

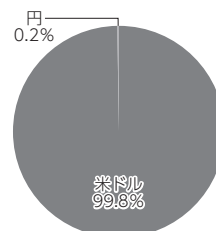
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月10日現在のものです。

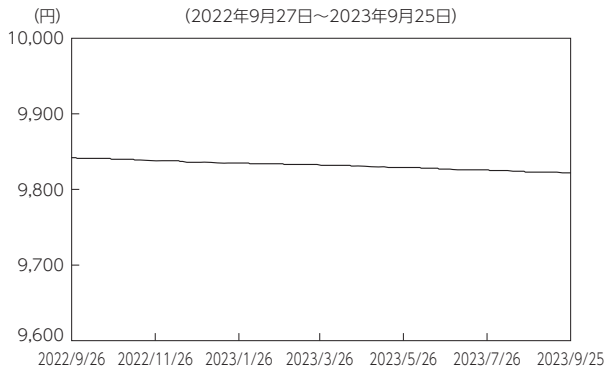
(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して0.9%買建てております。

FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2022年9月27日～2023年9月25日)



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年9月27日～2023年9月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	14	0.143
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.110)
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.011)
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	1	0.005
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	15	0.148

期中の平均基準価額は、9,832円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

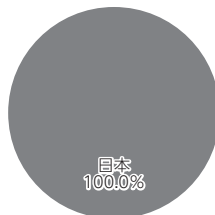
【組入上位10銘柄】

当期末における該当事項はありません。

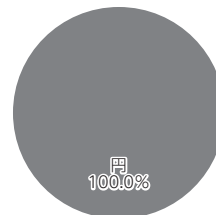
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年9月25日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。